

## 学校と家庭の連携強化

### ■不登校対策支援員設置事業

【教育費】(新規) 161万円  
(教育委員会事務局 学校教育課)

不登校の児童・生徒が増加する傾向にあるため、平成22年度より不登校などの児童・生徒指導の経験や専門的知識を持った支援員1人を新たに設置し、学校や保護者との連携を強めながら不登校の未然防止や問題解消に取り組めます。



大宮中学校教育相談室

## 登下校の安全を守ります

### ■スクールガード・リーダー配置事業

【教育費】(新規) 266万円  
(教育委員会事務局 学校教育課)

平成21年度まで京都府が実施していた地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業が、事務事業の移管により市町村へ引き継がれたことに伴い、児童・生徒の登下校時の安全確保や犯罪などによる被害防止を図るため、スクールガード・リーダー5人を配置し、巡回指導や学校・PTAなどへの安全指導を行い、登下校時の安全強化に努めます。



スクールガード・リーダー

### ■小学校施設耐震診断事業

【教育費】(継続) 1,159万円  
(教育委員会事務局 教育総務課)

京丹後市には、幼稚園3園、小学校30校、中学校9校の計42校(園)があります。これらの学校施設は、地震などの災害発生時には、児童・生徒、地域のみなさんの避難場所としても重要な役割を担っていますが、昭和56年以前の旧耐震基準で設計・建築された建物が多いことから、順次耐震二次診断を実施しています。

平成22年度は大宮第三小学校および黒部小学校の耐震二次診断を実施します。今年度で、市内すべての旧耐震基準で設計・建築された学校および幼稚園施設について、耐震二次診断が完了します。



耐震診断を実施する黒部小学校

#### 耐震診断

大きな地震が発生した際に安全な建物かどうかを診断します。本市内にある学校(園)のうち、約半数の施設が耐震診断が必要とされる昭和56年以前に設計・建築されたものです。

## 安心・安全な教育環境の確保

### ■小学校施設耐震化事業

【教育費】(新規) 1,786万円  
(教育委員会事務局 教育総務課)

耐震二次診断の結果、大規模地震の際に倒壊する危険性が高いと判定された橘小学校体育館について、安全な学習環境を確保するため、耐震補強工事を行います。



耐震化工事を実施する橘小学校体育館

## 校庭の芝生化事業に着手します

### ■小学校屋外運動場芝生化事業

【教育費】(新規) 122万円  
(教育委員会事務局 社会教育課)

学校の屋外運動場の芝生化は、教育上の利点や環境保全、地域のスポーツ活動の活発化などの面にも効果が見られることから、全国的に推進されています。本市においても芝生化による教育効果を検証し、屋外運動場の芝生化を促進することを目的に、モデル的に網野北小学校屋外運動場の芝生化を実施します。

芝生化された屋外運動場の日常的な管理は、児童、教職員、PTAなどを中心に、地域スポーツ団体や地域住民ならびに学校ボランティアなどの協働により行い、地域の活性化も図ります。



網野北小学校屋外運動場

- 事業規模 10,000㎡
- 実施方法 ポット苗移植方法(鳥取方式)

#### 屋外運動場芝生化の効果

- ・教育的効果  
児童のケガの減少、体力や運動能力の向上
- ・環境保全の効果  
土ぼこりの防止、夏場の表面温度上昇抑制
- ・地域の活性化  
スポーツ団体や学校ボランティアなどの協働による日常的な維持管理で地域の一体感が醸成

### ■学校支援地域本部事業

【教育費】(拡充) 740万円  
(教育委員会事務局 社会教育課)

地域全体で学校教育を支援するため、さまざまな特技や技能をもった地域のかたに学校支援ボランティアとして登録していただき、学校の求めに応じて、学習支援やクラブ活動支援、学校の環境整備などの活動を行います。

平成20年度からモデル地域(峰山・大宮・網野中学校区)で実施してきましたが、平成22年度から市内全域すべての幼稚園、小中学校に拡大し、学校を核とした地域の教育力向上と活性化を図ります。



放課後補習支援

## 3 歴史文化遺産の保全と活用

### 京丹後市史を発刊します

#### ■市史編さん事業

【教育費】(継続) 958万円  
(教育委員会事務局 文化財保護課)

京丹後市の歴史と自然を写真や図版を用いてわかりやすく解説する本文編(全2冊)と、本市に関係する文化財などを紹介する資料編(全12冊)からなる「京丹後市史」を作成します。(編さん期間:平成17年度~平成26年度)

平成22年度は、資料編の(仮称)『丹後震災復興関係史料集』を発刊します。



市史編さん古文書調査

### 遺跡の保護・活用に取り組みます

#### ■遺跡整備事業

【教育費】(継続) 356万円  
(教育委員会事務局 文化財保護課)

大正11年に国史跡に指定され、教育・観光・地域づくりの資源としても活用が期待されている網野銚子山古墳について、国史跡として追加指定が必要と見込まれる周辺範囲の用地測量を行います。用地測量の範囲は平成19年度から平成21年度に市が実施した範囲確認調査の成果に基づき、古墳の保護に必要と認められる範囲です。

関係者のみなさんの承諾が得られるなどの条件が整えば、国に追加指定を申請します。



網野銚子山古墳航空写真(国史跡)